

キャリアデザイン学専攻

Graduate School of Career Studies / Major in Career Studies

募集人員：修士課程 20名 | 開講形態：夜間開講 | キャンパス：市ヶ谷

勤務先の特徴：企業人事担当者、人材ビジネス会社経営者、経営コンサルタント、大学職員、大学教員、キャリアコンサルタント（カウンセラー）、高校教員、官庁職員、独立行政法人職員 など

キャリアデザイン学を体系的に学べる 日本初の大学院。

企業や公共団体、NPO、大学、高校などの人事・教育・キャリア支援担当者、キャリアコンサルタントとしてより高度な専門職を目指す方などを対象とした研究科です。経営学、教育学と、隣接する学問分野を背景に個人のキャリアを学際的に解明します。授業の多くは2時限連続（3時間）で夜間と土曜日に開講、半期で修了します。

キャリア支援や生涯学習の視点を重視する「キャリア教育・発達プログラム」と、組織の中でのキャリア形成・支援の視点を重視する「ビジネスキャリアプログラム」の2プログラムを設定。研究の基礎となる調査法を基礎科目で修得し、心理学関連科目を中心とした共通科目を学んだ上で、プログラム科目でそれぞれの領域の専門性の涵養と研究の深化を目指します。

アドミッション・ポリシー

（学生の受け入れ方針）

企業や公共団体、NPO、大学、高校などの機関で人事・教育・キャリア支援などを担当する方や、キャリアコンサルタントとして、より高度な専門職を目指している方などを対象とした受け入れ方針をとっている。

カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施方針）

基礎・共通科目をベースにキャリア教育・発達プログラム、ビジネスキャリアプログラムの2分野のプログラム科目を設置。それぞれのプログラム科目には、キャリア発達科目群、キャリア・プロフェッショナル科目群、キャリア政策科目群というマイクロ・メゾ・マクロの3分野からなる科目群を配置している。それらの科目の履修の上で演習科目において修士論文指導を行う。

ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

「経営学、教育学と、隣接する学問分野をバックグラウンドにした個人のキャリアの学際的な解明」「企業、公共団体、NPO、大学・高校などでキャリア支援を担う高度職業人の養成」という教育理念を踏まえ、学位授与にあたっては、学際的な専門知識をベースにしながら自らの職業経験を生かした研究課題を設定し、社会調査の手法を駆使して実証的な課題解明ができることを重視する。

研究室紹介 | 現場で感じた「モヤモヤ感」に 筋道を立てる旅

田澤実准教授 | 教育心理学・生涯発達心理学（キャリア教育の効果測定、包括的な若者支援）

田澤実研究室はキャリア教育・発達プログラムに属します。指導生の研究テーマのキーワードには「理容美容専門学校の学びと初期キャリア」「発達障害学生の支援に関する学内連携・学外連携」「発達障害者と健常者が共に働くこと」「料理イメージと料理行動がキャリア意識に与える影響」などがあります。支援現場等で感じた問いを適切な形にし、論文を仕上げる作業は、非常にハードです。しかし、完成時に「ああ、私が現場で感じていたことは、このように説明ができるのか」という爽快感が得られた際には、今後の自信につながることでしょ。皆さんもモヤモヤ感に筋道を立てる旅に出てみませんか？



Voice



修士課程 2014年度修了
落合 千裕

【研究テーマ】大学における発達障害学生の支援に関する学内連携・学外連携—コーディネート機能に注目して—

学んだことが仕事に直結し役立つことは、 社会人大学院生にとって非常に貴重です

私の研究

キャリア教育を中心に学び、研究領域は発達障害学生支援です。2年次の春にインタビュー調査を行いたい大学に依頼書を郵送・Eメールし、応じてくれた大学に向けて夏からインタビュー調査を開始し、秋に文字起こしをし、冬には本格的に修士論文を執筆しました。発達障害学生支援は大学の規模や特色によってそれぞれに違いがあり、それらを四象限分類で修士論文にまとめました。

大学院の魅力

大学院の魅力は研究できる環境が整っていることはもちろん、キャリアデザイン学を体系的に学ぶことです。学んだことが日々の仕事に、即役立つことも実践現場を持つ私たち社会人大学院生には貴重です。また、研究科の先生方との繋がり、同期をはじめ先輩・後輩との繋がりが深いことも魅力で、さまざまな年代、業界の交友との交流は私の財産と言っても過言ではありません。

■専任教員と担当科目（2016年度）※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

<キャリア教育・発達プログラム>

上西 充子 教授 専 職業能力開発、キャリア教育
研 学校から職業への移行過程と初期のキャリア形成、ならびに、それに関わる支援の在り方
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ キャリア教育論

笹川 孝一 教授 専 生涯学習学、大学生のキャリア形式と地域活動
研 リテラシー・学力・コンピテンス研究、持続可能な社会のための教育
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 生涯学習論

筒井 美紀 教授 専 教育社会学、労働社会学
研 地域就労支援政策、高校生や大学生の進路・就職、労働教育
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 教育社会学

<ビジネスキャリアプログラム>

梅崎 修 教授 専 労働経済学、教育経済学、人事組織経済学
研 人事マネジメントの分析、キャリア教育の効果測定、初期キャリア形成の分析
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 人事組織経済学

佐藤 厚 教授 専 産業社会学、人的資源管理論、雇用政策論
研 ホワイトカラーの仕事とキャリア、労働時間管理とワークライフバランス、人材育成論
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

八幡 成美 教授 専 職業能力開発、人事労務管理、経営工学
研 技術革新と人材育成、専門職のキャリア形成、グローバル化と技術移転
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 職業キャリア政策論

<プログラム共通>

斎藤 嘉孝 教授 専 社会学、社会調査、家族論
研 家族やそれを取り巻く社会環境と、関連する諸政策・制度
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 量的調査法

宮城 まり子 教授 専 臨床心理学、生涯発達心理学、キャリア教育、産業心理学
研 キャリア開発支援とキャリアカウンセリング
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ キャリアカウンセリング論

安田 節之 准教授 専 コミュニティ心理学、プログラム評価論
研 心理教育プログラムや社会サービスの評価研究、高齢者のライフキャリア研究
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ キャリア調査研究法基礎

■設置科目（2016年度）※開講科目は年度により異なります。（ ）内は単位数

<修士課程>	人事組織経済学 (4)
キャリア調査研究法基礎 (2)	職業キャリア政策論 (4)
量的調査法 (2)	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ (各2)
質的調査法 (2)	
生涯発達心理学 (4)	
教育心理学 (4)	
産業・組織心理学 (4)	
キャリアカウンセリング論 (4)	
コミュニティとキャリア (4)	
キャリアガイダンス論 (4)	
教育組織イノベーション論 (4)	
キャリア教育論 (4)	
教育社会学 (4)	
生涯学習論 (4)	
キャリア開発論 (4)	
人的資源管理論 (4)	
経営組織マネジメント論 (4)	

児美川 孝一郎 教授 専 教育学
研 青年期教育、キャリア教育
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ キャリアガイダンス論

高野 良一 教授 専 教育行政学、学校改革論
研 学校イノベーションの日米比較
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 教育組織イノベーション論

田澤 実 准教授 専 教育心理学、生涯発達心理学
研 キャリア教育の効果測定、包括的な若者支援
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 教育心理学

坂爪 洋美 教授 専 産業組織心理学、人材マネジメント
研 働き方の多様化と女性のキャリア形成、ミドルのキャリア・チェンジ
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 産業・組織心理学

武石 恵美子 教授 専 人的資源管理論、女性労働論
研 働き方の多様化と人材マネジメント、女性のキャリア形成
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ キャリア開発論

木村 琢磨 准教授 専 組織行動論、経営組織論
研 企業における組織内政治とパワー、非公式リーダーシップ、組織の活性化
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 経営組織マネジメント論

佐藤 恵 教授 専 地域社会学、福祉社会学、犯罪社会学、社会調査
研 ボランティア・NPO、障害者支援、犯罪被害者支援、排除・レイベリング
担 キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ 質的調査法

田中 研之輔 准教授 専 都市社会学、若年滞留層論、社会調査
研 広く「社会集団」に関する理論的+経験的な社会学的考察
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

■修了生の研究テーマ

- 大学時代の課題解決型プロジェクト活動の経験が
進路選択から初期キャリアに与える影響
- 失業者の求職活動を促進する要因とその心理のプロセス
—離職者に向けた職業訓練のプログラム評価—
- 長期滞留ミドル従業員が高い能力発揮を継続する要因の検討
—キャリア・プラト—現象への対応—
- 中小企業の新卒採用行動戦略の検討
- 女性マネジャーの成長過程における経験と学習
- 障害の社会的構成と障害者雇用をめぐる実態と考察
- メンタルヘルス不調による休業者の心理的傾向と
キャリアに関する意識の変化について
- 失業者の再就職レディネスに関するプログラム効果の検討
- 女子大学卒業生の「職業キャリア形成」と親子関係